

佐久市佐久つと支援金事業 自己評価報告書

		評価日	27年 10月 30日
団体名	NPO法人 うすだ美図		
事業名	地域の資源を活用した再生可能エネルギーの導入を考える市民講演会		
対象経費	200,000円	支援金額	100,000円

事業の目的・内容	目的 臼田地域の人口減少が現実のものとなり、少子高齢化社会の到来が叫ばれる昨今。臼田地域の街づくりは大きく動き出そうとしています。そんな中で、自然エネルギーを地域の資源としてとらえ、地域住民を巻き込んだ活動に発展させていきたいと考えた。
	内容 小水力発電と街づくりについて基調講演をいただき、引き続き講演者を交え、上田市で自然エネルギーの活用を街づくりの核として活動し、実績を上げているNPO法人理事長、及び長野県中島副知事によるパネルディスカッションを開催した。

事業の活動実績	平成27年10月10日コスモホール2階小ホールにて、臼田元気フォーラムと銘打ち、再生可能エネルギーを活用した地域の活性化を考える市民フォーラムを開催。1部は茨城大学農学部小林教授の講演会を開催、テーマは「地域住民がつくる自然エネルギー、小水力発電と臼田のまちづくり」。引き続き2部は講師の小林教授を交え長野県中島副知事、上田市民エネルギー藤川理事長を含むパネルディスカッションを開催した。テーマは「うすだ元気力発電所と地産地消のまちづくり」。約150名の参加者が自然エネルギーの街づくりへの活用を学ぶことが出来た。同時にコスモホールエントランスホールで子育て世代のお母さん達によるマルシェを開催し世代間交流をはかることが出来た。マルシェを含む総来場者は250名を超えた。
---------	---



事業の成果・効果	臼田地区で街づくりに携わっている団体、佐久総合病院、子育て世代を含む多くの市民が参加する中で盛大に開催することが出来た。マルシェを含め参加者は250名を超えることが出来た。茨城大学小林教授の講演会は臼田地域における小水力発電の地域利用の可能性を十分に理解できた。パネルディスカッションについては副知事の説明から太陽光発電の実績と有効性を聞くことができ、またNPO上田市民エネルギー藤川理事長との連携による市民参加型のエネルギーの地産地消の取り組みについて理解できた。多くの参加者とともに臼田地域においても再生可能エネルギーの地域での活用を考える良い機会になったと考えている。また、子育て世代の方々との交流もはかることが出来たと考えている。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	① ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ)
その他、評価すべき点等		

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	地域の自然エネルギーを活用しエネルギーの地産地消を通して臼田地域の街づくりに貢献していきたい。太陽光発電を市民参加型で実現する構想がある、次年度までには具体化していきたい。また、佐久総合病院裏の農業用水を利用した小水力発電の可能性も探りたいと考えている。発電した電力を地域住民や病院来訪者に活用してもらい高齢者にも安心安全な街づくりを目指していきたい。
---------	--